

# 日本風景街道だより

2015 年 冬 Vol. 31

## 日本風景街道 意見交換会 開催報告

国土交通省では、日本風景街道の活動の更なる発展を図るため、各ルートが抱える共通課題や対応方針等について話し合う「意見交換会」を開催していますが、今回は、行政機関の担当者を対象として「道路管理者・行政としての日本風景街道の取り組み」をテーマとして平成 27 年1月28日(水)に開催しました。



### 開催概要

#### (1) 挨拶

会議の開催にあたり、池田環境安全課長より挨拶があり、①日本風景街道の取り組みの意義として、道路自身を美しくすること、美しくすることを通じて沿線全体が発展すること、地域の人や関係者の活動が活性化することなどがあるが、根幹である道路自身を美しくする取り組みをもう少し全国的に進めていきたい、②日本風景街道を様々なところで取り上げてもらうために、きちんとしたデータベースを構築し、オープン化することによって、観光など様々な分野で活用してもらえるようにしたい、③道路の修繕や更新、無電柱化に伴う歩道整備などの際、以前よりも1段品質を改善したものにしていくため、「道デザイン研究会」を設置して取り組んでいく、との話がありました。



池田環境安全課長の挨拶

#### (2) 地域の取り組み発表

道路管理者・行政としての日本風景街道の取り組みの事例として、3地域4名から発表がありました(発表内容の詳細については、次号以降に掲載いたします)。

#### 事例発表者と発表内容

| 事例発表者(敬称略)                             | 演題                                                     | 主な発表内容                                                                |
|----------------------------------------|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 国土交通省北海道開発局<br>建設部道路計画課<br>道路企画官 井上 勝伸 | 景観改善に向けた取り組み<br>～シーニックバイウェイ北海道～                        | ・景観改善・保全に向けた取り組み<br>・地域の景観を生かす取り組み<br>・企業との連携活動 など                    |
| 宮崎市 都市整備部<br>景観課長 鈴木 俊郎                | 日本風景街道「日南海岸きらめき<br>ライン」における宮崎市景観重要公<br>共施設としての景観への取り組み | ・宮崎市景観計画<br>・景観重要公共施設の指定<br>・景観重要公共施設の整備事例(道路舗装等) など                  |
| 宮崎県<br>県土整備部道路保全課<br>課長補佐 矢野 康二        | 宮崎県の沿道修景の取り組み                                          | ・沿道修景美化条例の制定<br>・修景樹木の高木化、繁茂化、老木化への対策<br>・沿道修景研修会の開催<br>・官民協働の取り組み など |
| 福井県若狭町<br>歴史文化課長 永江 寿夫                 | 若狭鯖街道熊川宿のまちづくりか<br>らのまちなみ保全、景観向上                       | ・街並み保存の取り組み<br>・景観向上のための道路整備 など                                       |

### (3) ディスカッション

取り組み事例の発表を受け、「道路管理者の役割を踏まえた、道路景観づくりの継続的な推進」を目指す方向性としたディスカッションを行いました。(一財)道路新産業開発機構のプロジェクトマネージャー浜田誠也氏の司会により、①道路管理者が取り組む「道路景観づくり」、②道路管理者と自治体の景観行政との連携、を論点とし、道路管理者、景観行政それぞれの立場から、実務での経験を踏まえて、道路景観づくりに取り組むためのきっかけづくり、きれいな景観を維持管理していくための方法、ビュースポットの整備、登録ルート内での異なる道路管理者間の連携等について貴重な意見が交わされました。

最後に浜田氏より、①景観重要公共施設を積極的に指定していくことが重要、②住民や地域のパートナーシップとの連携が必要、③活動の担い手の確保、④建物の修復等の技術を持った人材のデータベースの整備が必要、とのまとめがありました。



司会の浜田氏



メインテーブルの様子



聴講席の様子

#### ディスカッション参加者(この他、事例発表者4名を含む)

| 氏名(敬称略) | 所属・役職                          |
|---------|--------------------------------|
| 矢澤 敏幸   | 福島県 会津若松建設事務所 企画調査課長           |
| 小杉 俊一   | 茨城県 土木部道路維持課 道路保全強化推進室長        |
| 林 昭一    | 金沢市 土木局 担当部長兼道路建設課長            |
| 斉藤 正秀   | 伊那市 建設部 建設課長                   |
| 谷藤 博章   | 岐阜県白川村 基盤整備課長                  |
| 山崎 泰助   | 鳥根県 土木部 道路維持課長                 |
| 荒木 俊輔   | 鳥根県 出雲県土整備事務所土木工務部都市整備課 都市整備係長 |
| 多田 清治   | 徳島県 南部総合県民局経営企画部 課長補佐          |

### (4) まとめ(総括)

最後に、佐々木道路環境調査室長より、「道路は地域と共にある施設であり、地域と一緒に作っていくとともに、道路管理者自らが率先して取り組むことで、周りも良くなっていく。この事を肝に据えて風景街道の取り組みを進めていってもらいたい。また、若狭町の事例発表で子供を集めて調査したのがきっかけだったとあったが、風景街道の活動を担うパートナーシップの皆さんも高齢化しつつあり、次世代につなげていくことも非常に重要だと認識した。今後とも国、都道府県、市町村、それぞれの立場で協力しながら風景街道の取り組みを進めていきたい。」との総括がありました。



佐々木道路環境調査室長の総括

(執筆 国土交通省道路局環境安全課道路環境調査室)

# 日本風景街道大学 本校 参加報告

## ～情報と交流、その先にあるもの～ 風景街道における道の駅をテーマに

平成27年1月9日(金)～11日(日)の3日間にわたり、日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会及びNPO 法人日本風景街道コミュニティ主催の今年で5回目となる日本風景街道大学本校が、宮崎大学木花キャンパス等にて開催されました。一般の方々や行政関係者など県外の方約40名を含む約140名の方々が参加されました。今回の風景街道大学では、風景街道における道の駅をテーマに、道の駅の現状と今後の展望、日本風景街道と道の駅の連携のあり方を話し合う場として開催されました。



1日目の全体講義の様子



会場の様子



2日目の全体講義の様子

### 1日目の概要

#### (1) 全体講義

最初に宮崎市観光課課長補佐 島村幸広氏から、「地方自治体からみた道の駅」というテーマで、宮崎市内の道の駅の概要、道の駅フェニックス、今後の展望等について講義がありました。

次に「道の駅の現状報告」として、「道の駅かまえ」店長 市橋俊蔵氏、「道の駅北川はゆま」支配人 中島隆志氏、「道の駅酒谷」駅長 野辺和美氏 及び「道の駅なんごう」駅長 横山正氏から、各道の駅での取り組みと課題について講義がありました。

続いて国土交通省九州地方整備局道路調査官 大脇鉄也から、「道の駅の第2ステージにむけて」というテーマで、地域の拠点機能の強化とネットワーク化等について講義がありました。

最後に緊急報告ということで、沿道景観磨き上げワーキンググループ 梅下圭太氏、鬼束健司氏の両名から、「景観みがき」というテーマで、民・学・官の協働で進めている「沿道景観磨き上げワーキンググループ」の活動概要について報告がありました。

### 2日目の概要

#### (1) 全体講義

「先進事例に学ぶししまなみ海道」として、最初に尾道観光協会 石原尚味氏から、「ししまなみ海道のサイクルツーリズム」というテーマで、ししまなみ海道サイクリングロード、サイクリングツアーの概要について講義がありました。

次に株式会社ししまなみ 秋山耕治氏から、「ししまなみ海道と道の駅」というテーマで、道の駅での取り組みとサイクルツーリズムと連動した運営について講義がありました。

#### (2) グループ討論

全体講義に続いて、これまでの講義を受けて4テーマに分かれてのグループ討論が開催されました。

| テーマ                   | ファシリテーター                      | 主な議論・結論                                                             |
|-----------------------|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| ①情報～道の駅にできること～        | 日南海岸きらめきライン<br>鬼束 健司<br>香田 奈々 | ・情報発信手段のニーズ分けの必要性<br>・隣接する道の駅との連携(情報)<br>・外国人とのコミュニケーション方法          |
| ②-1<br>日南海岸を自転車で遊びたおす | 日南海岸きらめきライン<br>井上 康志          | ・サイクリストの目的<br>・サイクリストに対する印象<br>・日南海岸でサイクリングをするための現状と課題及び解決策         |
| ②-2<br>日南海岸を自転車で遊びたおす | 日南海岸きらめきライン<br>中村 安男          | ・サイクルツーリズムの特徴、メリット<br>・サイクリストのための環境整備<br>・地域づくりや地域経済への効果<br>・走行上の安全 |



| テーマ              | ファシリテーター              | 主な議論・結論                                            |
|------------------|-----------------------|----------------------------------------------------|
| ③ 地域との交流ってどんなこと？ | 日南海岸きらめきライン<br>平島 真央  | ・地域ができるおもてなし<br>・若い発想の必要性<br>・大学の活用<br>・風景街道ができること |
| ④ つながる先にあるもの     | 日南海岸きらめきライン<br>工藤 登紀子 | ・人・モノ・情報のネットワーク化<br>・ガイドのあり方<br>・負担と分担             |

### (3) 全体討論

宮崎大学 根岸准教授がコーディネーターをつとめ、グループ討論の結果発表を4つの視点に分類したうえで、全体討論が開催されました。

| 視点         | 主な議論・結論                                                                   |
|------------|---------------------------------------------------------------------------|
| ① 風景街道って何？ | ・美しい風景と交流。多様なパートナーがフラットな関係で担いあえる場。<br>・分かり難くてもよい、非常に多様で豊かなもの。             |
| ② 交流と連携    | ・人・モノ・情報を分けて考えるのではなく、一体で考えた方がよい。<br>・連携には、各組織での役割分担、目標の共有化が必要。連携の先に交流がある。 |
| ③ 人づくり     | ・ガイド不足なので、システムをつくる必要がある。<br>・にわかガイドが増え、地域を愛する人が増えるとよい。                    |
| ④ お金       | ・お金を集める技術を避けて、しっかりと研究すべき。<br>・道路空間を活用して活動費を稼ぐ。<br>・ふるさと納税の活用。             |



グループ討論の様子



全体討論の様子

### (4) とりまとめ

2日間のとりまとめとして、NPO 法人日本風景街道コミュニティ 石田代表理事より、今回の風景街道大学について、①ディスカッションが充実していた、②世代交代して良かった、③官民一体となって、地域に根ざしたアイデアが必要、との総括がありました。



石田代表理事による総括

## 3日目の概要

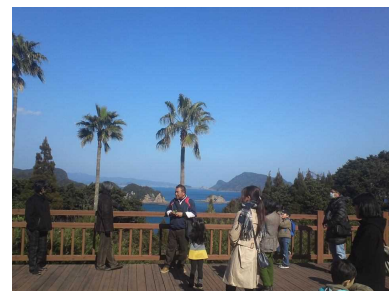
### (1) エクスカーション

3日目は、「日南海岸きらめきラインを楽しむサイクリング」と「道の駅」を巡るバスツアーの2コースに分かれ、エクスカーション(体験型の見学会)が行われました。

サイクリングでは、休むところにバイクラックがない、国道 220 号は路側が狭いという声も聞かれ、日南海岸線をサイクリングコースとして活用するための課題も見つかりました。



日南海岸きらめきラインを楽しむサイクリング



「道の駅」を巡るバスツアー

(国土交通省九州地方整備局 宮崎河川国道事務所 調査第二課)

## シリーズ：各地域の風景街道の取り組み

:

### 愛宕街道（京都鳥居本）の活動状況について

伝統が息づく町並みと暮らし。地域のまちづくりとともに、多様な交流を展開

ルート名：愛宕街道（京都鳥居本）

#### 1. 街道の概要と取り組み経緯

日本風景街道「愛宕街道(京都鳥居本)」は、京都の代表的な観光名所である嵯峨野にあります。「火過要慎(ひのようじん)」と書かれた火伏札で知られる愛宕神社へ続く、参詣道です。17世紀から栄えた門前町と伝統的な民家が共存する町並みで、嵯峨野の野辺が背景となり、独特の佇まいを見せています。



一帯は昭和54年(1979)に国の伝統的建造物群保存地区に指定されています(長さ約600m、2.6ヘクタール)。中程にある化野念仏寺を境に、愛宕神社の一の鳥居に近い上地区は、主として茅葺きの農家風、下地区は町家が並んでいます。観光地の雑踏とは無縁で、閑静な佇まいに多くの旅人、愛宕詣での人が訪れます。

街道沿いには、京都の晩夏を彩る五山の送り火の一つ「鳥居型」があり、愛宕山頂にある愛宕神社は「火伏せの神」として江戸中期から信仰を集め、「伊勢に七度、熊野に三度、愛宕さんへは月参り」と親しみを込めて歌い継がれてきました。

昭和初期には観光の需要に応えるべく、愛宕電気鉄道が嵐山から山麓の清滝まで走り、愛宕山頂へはケーブルカーが走っていましたが、終戦前年にいずれも廃線、次第に人の往来も減り、大きな開発も行われずに昔ながらの町並みが残されました。

京都市により、平成5年(1993)に明治期の京町家を復元した「京都市嵯峨鳥居本町並み保存館」が開設され、その後NPO うるわしのまち・みちづくり(理事長 上村多恵子)が指定管理者となり、風景街道の活動の拠点として地域とともに活動してきました。





NPO うるわしのまち・みちづくりは平成 16 年(2004)設立以来「京都らしい景観、佇まい、光り輝くうるわしい景観を守り育て、景観の改善に役立つ電線類の地中化や諸事業を展開し、快適なまち・みちづくりの推進に寄与する」を目的に活動を展開しており、NPO が中心となって日本風景街道に応募、平成 19 年(2007)に選定いただきました。

そして日本風景街道の活動を推進するため、NPO、京都市、嵯峨野保勝会、嵯峨野自治会等地域住民の皆さまとで構成する協議会「愛宕街道をよくする会(代表 上村多恵子)」を発足し、現在に至っています。

また、「京都市嵯峨鳥居本町並み保存館」の指定管理は、現在は、NPOとともに活動を展開してきた地域の組織である嵯峨野保勝会が引き継ぎ、地域力再生のモデル化に向け活動を進めています。



上地区の様子



下地区の様子



左側の建物が「京都市嵯峨鳥居本町並み保存館」

## 2. 活動の紹介

京都嵯峨野・愛宕街道らしい景観、歴史と伝統、祈りの道の佇まい、美しいまちづくり推進のために電線類を見えなくする工夫を進めています。さらにこの町並みを求めて訪れる人々と地域の人々との交流を図るために、明治期の京町家を再生した「京都市嵯峨鳥居本町並み保存館」では語り部が常駐し、館内そして地域の案内をしています。さらに様々な交流・再発見イベントの他、地域資源の調査やまちの課題に向けた取組も展開しています。

### (1) 地域のまつりへの参加

街道の中程にある化野念仏寺には、8,000 基もの石仏・石塔があり、毎年 8 月には「千灯供養」が行われています。蠟燭の明かりに浮かび上がる数多くの石仏は、幽玄な夏の終わりの風物詩でもあります。この時期にあわせ、地域ぐるみで「愛宕古道街道灯し」が行われています。近隣の中小高校生、そして京都嵯峨芸術大学の学生が大小 800 基の手づくり行燈を灯し、街道をライトアップしています。年に一度だけの幻想的な景色に、多くの人が訪れています。



### (2) 地域の魅力の創造

#### ■無電線類への取組

本エリアにおける電柱・電線、無配線を行い、無電柱化への取り組みが進められています。裏配線は、表通り(幹線)の電線と電柱を裏通り(支線)に回すことで、表通りを無電柱化する手法です。関西電力により施工され、この機会にあわせて京都市により道路の舗装工事が行われました。



## ■学習会やワークショップ等の開催

地域の方々、そして NPO や保勝会のメンバーでは、愛宕街道の魅力を再発見し共有するとともに、来訪者の目線で課題を発見していくワークショップを開催してきました。建築家や郷土史家など各種専門家を招いた講演会等もこれまで幾たびも実施してきました。その中で「嵯峨鳥居本について詳しく解説している英語ガイドブックは、実は少ない」「歴史文化をいかしたまちづくりと観光地づくりの両立の秘訣」などの新たな気づきがありました。また、ワークショップは地域の内外の人が話をし、交流する機会にもなっており、外の目線からこの地域の魅力を改めて聞かされることによる再発見も重ねられています。



膝詰めで行う小規模なワークショップを何度も開催してきました



専門家を招いての講演会

## ■多様な団体との交流

京都検定資格者の研修を受け入れたり、同じ風景街道のたんば三街道のパートナーシップ組織である「たんば道えにし」の視察を通じた交流などを展開してきました。



案内の様子。地域の概要説明では、「京都市嵯峨鳥居本町並み保存館」にあるジオラマを活用します。

## (3) 来訪者へのおもてなし

### ■京都市嵯峨鳥居本町並み保存館での様々なイベントの開催

活動、そして交流の拠点である「京都市嵯峨鳥居本町並み保存館」では、様々な取組が行われています。地域の方々の文化力向上を目指した「生け花展」や「楽しい仲間たちの絵画展」など地域主催で様々な活動を実施しています。





## ■観光ルートと案内板の検証

ワークショップ活動として、観光ルートを地域の方々、NPO、専門家等で実際に歩き、案内板の不十分さを再確認しました。必要に応じてその都度設置されてきたのか、デザインや方法についてもバラバラで統一感がありません。さらに情報の更新も十分でないことが解りました。このことを踏まえ、より来訪者目線による案内板の必要性を提言しました。



多様な案内板が混在しています。来訪者目線で改善して行く必要性を確認しました。

## ■景観調査

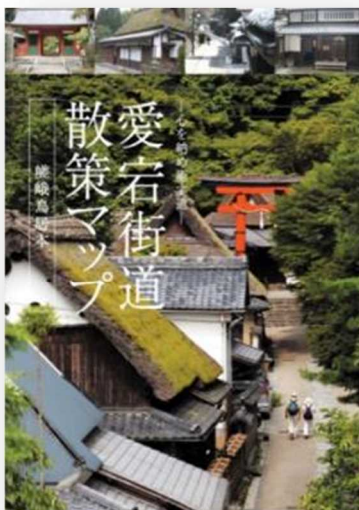
景観の障害物として、自動販売機が指摘されています。この検証をしようと調査を行いました。自動販売機は来訪者の喉を潤すものであり撤去を前提とするのではなく、色調や素材をかえるなど工夫を凝らすことで、景観に調和できる方法を考えました。これは、デザイン改良提言としてまとめました。



自動販売機の現状。色調や素材を替えることで、容易に景観に馴染んだものに変えられることを検証

## ■散策リーフレットの作成

愛宕街道を訪れる人・訪れた人に対して、解りやすくコンパクトな散策リーフレットを作成しました。A3 サイズの 2 つ折りサイズで、愛宕街道の位置・アクセス・構成、名所・観光スポットの解説、そして嵯峨野に暮らす作家の瀬戸内寂聴氏が作詞した「嵯峨野径音頭」の歌詞を紹介しています。散策のお供に使われることを期待しています。





### 3. 今後の取組について

今後とも、地域住民、NPO、各種専門家が連携しながら、地域の魅力再発見・創造・発信の取組を継続させるとともに、その担い手となる地域の方々との交流や活動を深化させていきたいと考えています。加えて、近年は、円安などの背景により、多くの外国からの来訪者が日本、京都を訪れています。多言語による案内、おもてなしの重要性を感じています。

ぜひ、愛宕街道・嵯峨鳥居本にお運び下さい。



〈執筆 NPO法人 うるわしのまち・みちづくり〉

# 日本風景街道は、現在、全国で 134 ルートが登録されています（平成 27 年 1 月末現在）

登録されている各風景街道の概要は、

日本風景街道のウェブサイト(<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/>)、

もしくは各風景街道地方協議会ホームページで閲覧することができます。

## 北陸風景街道協議会

- 4-1 日本海・パークライン
- 4-2 北アルプス大展望・最長最古の道のルート
- 4-3 金沢城下・野町・弥生町街道
- 4-4 関越自動車道
- 4-5 長門もみぢの道・新緑の道
- 4-6 日本の原風景  
「安曇野の谷・くまの谷の回廊」
- 4-7 飛騨・越前・ノノ・ノノ・ノノ
- 4-8 よりのみち街道「中津川」
- 4-9 越後・有馬・山回廊
- 4-10 佐渡・佐渡・佐渡
- 4-11 白山・白山

## シーニックバイウェイ 北海道推進協議会

- 1-1 支庁間・道庁間
- 1-2 大雪山・道庁間
- 1-3 東オホーツク・シーニックバイウェイ
- 1-4 宗谷・シーニックバイウェイ
- 1-5 釧路・阿寒・摩周・シーニックバイウェイ
- 1-6 函館・大沼・摩周・シーニックバイウェイ
- 1-7 弱冠・大沼・摩周・シーニックバイウェイ
- 1-8 十勝・シーニックバイウェイ
- 1-9 十勝・シーニックバイウェイ
- 1-10 十勝・シーニックバイウェイ
- 1-11 札幌・シーニックバイウェイ

## 中国地方風景街道協議会

- 7-1 R185さくら街道
- 7-2 歴史街道「萩街道」
- 7-3 人形峠の原風景  
〜こころをなぐさめる道〜
- 7-4 本州・西瀬戸の道「瀬戸のクロスロード」
- 7-5 しまなみ風景街道
- 7-6 大山・山崎の道
- 7-7 関門街道・関門街道
- 7-8 瀬戸街道・瀬戸街道

## 九州風景街道推進協議会

- 9-1 日南・日南・日南
- 9-2 日南・日南・日南
- 9-3 なかみち・日南・日南
- 9-4 日南・日南・日南
- 9-5 日南・日南・日南
- 9-6 日南・日南・日南
- 9-7 日南・日南・日南
- 9-8 日南・日南・日南
- 9-9 日南・日南・日南
- 9-10 日南・日南・日南
- 9-11 日南・日南・日南
- 9-12 日南・日南・日南
- 9-13 日南・日南・日南

## 東北風景街道協議会

- 2-1 ひろはる街道
- 2-2 ふくしま街道
- 2-3 みちのく街道
- 2-4 宮城・仙台・仙台
- 2-5 仙台・仙台・仙台
- 2-6 仙台・仙台・仙台
- 2-7 仙台・仙台・仙台
- 2-8 仙台・仙台・仙台
- 2-9 仙台・仙台・仙台
- 2-10 仙台・仙台・仙台
- 2-11 仙台・仙台・仙台
- 2-12 仙台・仙台・仙台
- 2-13 仙台・仙台・仙台
- 2-14 仙台・仙台・仙台
- 2-15 仙台・仙台・仙台
- 2-16 仙台・仙台・仙台
- 2-17 仙台・仙台・仙台
- 2-18 仙台・仙台・仙台
- 2-19 仙台・仙台・仙台

## 風景街道関東地方協議会

- 3-1 浅間・白根・志賀・大井町
- 3-2 千曲川・花の里・風景街道
- 3-3 江戸・東京・みちの道
- 3-4 東京・近郊・近郊
- 3-5 ルート299北・山崎・山崎
- 3-6 千蔵・千蔵・千蔵
- 3-7 千蔵・千蔵・千蔵
- 3-8 千蔵・千蔵・千蔵
- 3-9 千蔵・千蔵・千蔵
- 3-10 千蔵・千蔵・千蔵
- 3-11 千蔵・千蔵・千蔵
- 3-12 千蔵・千蔵・千蔵
- 3-13 千蔵・千蔵・千蔵
- 3-14 千蔵・千蔵・千蔵
- 3-15 千蔵・千蔵・千蔵
- 3-16 千蔵・千蔵・千蔵
- 3-17 千蔵・千蔵・千蔵

## 風景街道中部地方協議会

- 5-1 日本風景街道「伊勢・伊勢」
- 5-2 くらげ・富士山・風景街道
- 5-3 ニッポンのアルプス・風景街道
- 5-4 新しき・新しき・新しき
- 5-5 こころの道・道・道
- 5-6 道・道・道
- 5-7 道・道・道
- 5-8 道・道・道
- 5-9 道・道・道
- 5-10 道・道・道
- 5-11 道・道・道
- 5-12 道・道・道
- 5-13 道・道・道
- 5-14 道・道・道
- 5-15 道・道・道
- 5-16 道・道・道
- 5-17 道・道・道
- 5-18 道・道・道
- 5-19 道・道・道
- 5-20 道・道・道

## 近畿風景街道協議会

- 6-1 日本文化のクロスロード（大井町・下町）
- 6-2 新しき・新しき・新しき
- 6-3 道・道・道
- 6-4 道・道・道
- 6-5 道・道・道
- 6-6 道・道・道
- 6-7 道・道・道
- 6-8 道・道・道
- 6-9 道・道・道
- 6-10 道・道・道
- 6-11 道・道・道
- 6-12 道・道・道
- 6-13 道・道・道
- 6-14 道・道・道
- 6-15 道・道・道
- 6-16 道・道・道
- 6-17 道・道・道
- 6-18 道・道・道
- 6-19 道・道・道

## 四国風景街道協議会

- 8-1 いや・いや・いや
- 8-2 いや・いや・いや
- 8-3 いや・いや・いや
- 8-4 いや・いや・いや
- 8-5 いや・いや・いや
- 8-6 いや・いや・いや
- 8-7 いや・いや・いや
- 8-8 いや・いや・いや
- 8-9 いや・いや・いや
- 8-10 いや・いや・いや
- 8-11 いや・いや・いや
- 8-12 いや・いや・いや
- 8-13 いや・いや・いや
- 8-14 いや・いや・いや

## 沖縄地方風景街道協議会

- 10-1 琉球・琉球・琉球
- 10-2 琉球・琉球・琉球



## 風景街道地方協議会及び連絡窓口はこちらへ

風景街道の活動を積極的に支援するために、各風景街道地方協議会に連絡窓口を設置しております。  
日本風景街道に関するご相談等がございましたら、風景街道地方協議会の連絡窓口までご連絡下さい。

### ◆風景街道地方協議会の連絡窓口一覧

| 担当部署                                       | 担当者氏名 | 電話番号                       |
|--------------------------------------------|-------|----------------------------|
| シーニックバイウェイ北海道推進協議会<br>(北海道開発局 建設部 道路計画課 内) | 畑山 朗  | 011-709-2311(代表) (内線 5845) |
| 東北風景街道協議会<br>(東北地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)       | 増澤 亨  | 022-225-2171(代表) (内線 4256) |
| 風景街道関東地方協議会<br>(関東地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)     | 石浜 康賢 | 048-601-3151(代表) (内線 4252) |
| 北陸 風景街道協議会<br>(北陸地方整備局 道路部 道路計画課 内)        | 杉 浩行  | 025-280-8880(代表) (内線 4213) |
| 風景街道中部地方協議会<br>(中部地方整備局 道路部 計画調整課 内)       | 稲垣 光正 | 052-953-8171 (内線 4312)     |
| 近畿風景街道協議会<br>(近畿地方整備局 道路部 地域道路課 内)         | 南條 耕平 | 06-6942-1141(代表) (内線 4612) |
| 中国地方風景街道協議会<br>(中国地方整備局 道路部 地域道路課 内)       | 糸原 保  | 082-221-9231(代表) (内線 4613) |
| 四国風景街道協議会<br>(四国地方整備局 道路部 地域道路課 内)         | 黒口 貴弘 | 087-851-8061(代表) (内線 4612) |
| 九州風景街道推進会議<br>(九州地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)      | 松元 勝美 | 092-471-6331(代表) (内線 4252) |
| 沖縄地方風景街道協議会<br>(沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課 内)     | 大城 照彦 | 098-866-1914 (内線 4353)     |

### 【ご意見をお寄せください】

日本風景街道だよりは、地域の皆様へ様々な情報を提供することを目的に年4回程度発行する予定にしています。掲載内容などご意見・ご感想がございましたら、下記までお気軽にお寄せください。

## 日本風景街道だより

発行：国土交通省道路局環境安全課道路環境調査室  
東京都千代田区霞が関2-1-3  
TEL: 03-5253-8111(代表)(内線 38223) FAX: 03-5253-1622

<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>